

第2回 あがたの森ストリートデザインワークショップ開催記録

1. 開催概要

(1) 開催日時

令和7年7月31日(木) 14:00~16:05

(2) 開催場所

松本市立博物館 1階 講堂

(3) 出席者

計: 39名

(内訳)

- ・一般参加者: 21名
- ・関係機関オブザーバー: 9名
- ・事務局: 9名

(4) 次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 前回の振り返りと経過および今後の展開
4. 再整備計画策定に向けての検討

テーマ: あがたの森通りの将来像(ビジョン)を
具体化しよう!

<ワーク1>

通りに対するそれぞれの認識や想いの書き出し

<ワーク2>

通りで実現したいことの整理・具体化

<リレー報告>

グループワークの成果の共有

5. 次回以降の予定

6. 閉会

(5) 配布資料

- ・第2回開催案内チラシ
- ・資料1 第2回資料
- ・資料2 第2回参考資料(あがたの森通りに関する調査・分析データ)
- ・ワークシート1



2. 前回の振り返りと経過および今後の展開

第2回開催案内チラシ、第2回資料及び第2回参考資料により、事務局（KRC 小林）から、第1回の振り返りとその後の経過として、現地踏査で捉えたあがたの森通りの現状・特徴や位置情報のビッグデータ（人流データ）の分析に基づくあがたの森通り境界の行動（移動・滞留）実態を資料で確認したうえで、今後の展開として再整備計画の策定を念頭に置くなかので第2回の位置づけを説明。

3. 再整備計画策定に向けての検討

「あがたの森通りの将来像（ビジョン）を具体化しよう！」をテーマに、4つの班に分かれ2つのワークを実施。各ワークの実施概要を以下に示すとともに、各ワークにおける参加者からの発言概要及び付せんに書かれた意見を p. 9～p. 33 に整理した。

1) ワークの概要

<ワーク1> 通りに対するそれぞれの認識や想いの書き出し

① 魅力と課題の書き出し

ワークシート1に、第1回ワークショップで出された意見や現況写真、調査・分析結果等も見ながら、あがたの森通りで魅力だなと思うこと、課題だなと思うことを通り全体・エリア及び特定の場所に区分して各自記入。

ワークシート1 あがたの森通りの魅力や課題や想い		2025. 7. 31 第2回検討会
改めて、あなたご自身がこのあがたの森通りで、魅力だなと感じること、課題だなと思うことを思いつく限り、書き出してみてください。その際、通り全体やエリアなど一定の区間に言えることか、特定の場所のことか、下表の枠組みに沿って書き分けながら、具体的に記載してください。		班 氏名: _____
※参考資料・ページ→資料1（p2、3、p7～9）、資料2、机上のあがたの森通りの地図		
	魅力だなと思うこと	課題だなと思うこと
通り全体・エリア		
特定の場所		

※今後の参考のため、このシートは本日のワークショップ後に回収させていただきますので、あらかじめご承知おきください。

ワークシート1（A4判ヨコ）

② あがたの森通りで実現したいと思うことの書き出し

続けて、①で書き出した魅力や課題をふまえて、あがたの森通りで実現したいこと（シーンや場、仕組みや仕掛け、取組など）のアイデアを付せんに記入。その際、現況写真や他都市の事例写真も参照し、理想のイメージに近い内容があれば、その写真番号を記入し、その写真のどの部分がイメージに近い内容を表しているのかを具体的に記入。

<ワーク2>あがたの森通りで実現したいことの整理・具体化

① それぞれが考えた実現したいことの分類・整理

各班の担当の進行で、一人ずつ付せんに記入した内容を紹介するとともに、『意見整理用紙』に貼り分け、班内でそれぞれの意見を共有しながら、類似の内容をまとめて分類・整理。

【ワーク2 意見整理用紙】

_____ 班

ワーク2 意見整理用紙（A0 判ヨコ）

② 実現したいことの具体化（ポイントや場所の抽出）

ワーク2の①で整理した内容から班ごとに実現したいことを5つ以内で選んで書き出し、現況や事例から参考になる写真を切り貼りして、実現したいシーンをみんなで共有しながら、それを実現するうえでのポイントを整理。また実現したいエリアや場所が具体的にある場合には、地図上のその位置に番号シールを貼付して、対応する番号をシートに記入。

ワークシート2 通りで実現したいことの具体化		～地域と進める“緑と花のシンボルストリートデザイン”の検討～		班
ワーク2①の意見整理をふまえ、グループごとの話し合いにより、あがたの森通りにこんなシーンをつくりたい！、こんな通りだったらもっと歩きたくなる！、こんな関わり方（仕組み）ができればいい～など、この通りで実現したいことを、各グループでいくつか（5つ以内で）選んで書き出し（左欄）、参考になる写真を切り貼りしながら、実現イメージを共有し、実現したいエリアや場所も考えながら、実現する際のポイントを箇条書き出して（右欄）みてください。		参考になる写真（資料1 p.7～9、p.11～13参照）の切り取り・貼り付け欄		実現したいエリアや場所
実現したいこと (シーン・場・仕組み・仕掛け・取組) ＜実現したいこと＞		選択 通り全体 エリア1 エリア2 エリア3	地図対応 番号記入欄	
■ポイント .		選択 通り全体 エリア1 エリア2 エリア3	地図対応 番号記入欄	
＜実現したいこと＞		選択 通り全体 エリア1 エリア2 エリア3	地図対応 番号記入欄	
■ポイント .		選択 通り全体 エリア1 エリア2 エリア3	地図対応 番号記入欄	
＜実現したいこと＞		選択 通り全体 エリア1 エリア2 エリア3	地図対応 番号記入欄	
■ポイント .		選択 通り全体 エリア1 エリア2 エリア3	地図対応 番号記入欄	
＜実現したいこと＞		選択 通り全体 エリア1 エリア2 エリア3	地図対応 番号記入欄	

ワークシート2 (A0 判ヨコ)



あがたの森通りの地図 (A0 判ヨコ 2 分割 : A3 判タテ長尺)

<リレー報告>グループワークの成果の共有

各班でまとめた実現したいことの概要を各班の代表者が報告、全体で各班それぞれの意見を共有。

2) 班ごとの発言・意見の整理

<A班>

■発言メモ

<ワーク1>あがたの森通りで実現したいと思うこと

- ・あがたの森通りは、あがたの森から駅方向に下がる傾斜がついているため、ゲリラ豪雨があると、雨水が駅側に流れ下ってしまう。通りの舗装を透水性舗装にし、対策が取れると良い。

また、あがたの森通りに交差する南北方向の道路の幅員が狭いため、特に大型の緊急車両の通行に支障がある。緊急車両がスムーズに通行できるような改善が必要。

あがたの森から市民芸術館までの区間の夜間の照明がとても暗いため、安全に歩くためにも改善が必要。

あがたの森通りには、統一されたデザインがない。中町通りや伊勢町通りのような、通りのコンセプト、統一したデザインがあるといい。

- ・朝、あがたの森通りを散歩しているが、通りの終点にあがたの森、その向こうに美ヶ原を見通せる景観はアイストップにもなり魅力的。写真を撮れるスポットがあっても良い。

あがたの森通りは車メインではなく、人がメインの通りになると安心して快適に歩けると思う。236（千代田区・丸の内仲通り）のような人がメインの通りへ空間づくりができるといい。

また、201のように幅の広い歩道をゆったりと、まちを感じながら歩けると良い。あがたの森通りの沿道の店舗は、やや閉鎖的で入りにくい感じもある。234のように、沿道の1階の店舗は人の活動が見える、入りやすい空間づくりができるとよい。

居心地よく歩くには、211のような屋根のあるベンチが通り沿いにあるといい。統一されたデザインで、憩える空間を提供し、一人用から複数人でも利用できるような様々なサイズ、形のベンチを置けるといい。

南北方向の道路からあがたの森通りを横切る、または通りに交わる車は、青信号だとわかるとスピードを上げて交差点に進入するケースが多く非常に危ない。歩行者が居心地よく安全に歩ける通りにするために、南北方向の信号は、青信号の見え方を工夫して（近づくまで青だとわかりにくくするなど）、交差点にスピードを出して突っ込んでくる車への対策をとれるとよい。

- ・あがたの森通りからあがたの森、美ヶ原と見通せる景観がいい。今日も歩いてここまで来たが、非常に暑く、歩くには日陰は必要。あがたの森通りの場合、日中南側は建物の陰ができるが、北側は日を遮るものがない。そこで、南北のデザインを変えて、北側は街路樹で緑陰をつくり、南側は建物の陰を利用しつつ居心地よく滞留できるパークレットなどの居場所をつくる。南北でデザインを変えて他にはない特色のある通りをつくっていけるといい。

通りを歩いていてちょっと休めるベンチなどが欲しいが、新たに置くとスペースをとるので、植栽柵を座れるように工夫するのも良い。屋根付きにして、その屋根を緑で覆える形にし、高木を植えて緑陰をつくる形を変えるのも一つ。

より歩いてもらうには、通りの途中で水を飲める場がほしい。井戸を活用した給水ができるとよい。

また、通り沿いには自転車置き場がなく困ることがある。自転車置き場も場所を取るなので、立てかけられるタイプのサイクルスタンドを導入できるといいと思う。

近代に整備されたあがたの森通りを彷彿とさせるような、スクラッチタイルなど近代のテクスチ

ャーをデザインに取り入れられると良いと思う。

- ・通り沿いの樹木について、現状は重い印象がある。218、236、243 のような植栽にしていけるとよい。高木ではなく、低木植栽とベンチという組み合わせで緑を創出することもいいと思う。商店街での対策、取り組みもあり、最近鳥の被害も少なくなった。

あがたの森通りの山を見通せる景観を活かして、山の良く見えるポイントに 209～212 のような滞留できる「たまり」の場、空間を設けていけるといい。

沿道店舗の協力、理解が必要であるが、歩道に路面店を出せると賑わいにつながっていいと思う。歩道スペースが限られるが 234 のようなイメージ。特に冬は歩道の凍結などもあるが、人通りが少なく殺風景になる。冬でも楽しめる仕掛け、イベントなどもできるといいと思う。

空き店舗には、魅力的な個店を誘致できるといい。

- ・市内に住んでいるが、あがたの森通りにわざわざ来て歩こうとはなかなか思わない。歩きたくなる通りには、日陰（木陰）、休めるベンチ、立ち寄れるカフェがあると良い。211、212 のようなベンチがあったり、211 のような屋根のあるベンチ、219 のような木陰のあるベンチもあるといいと思う。108 のカフェが今日で閉店と聞いて悲しい。通りにカフェはあってほしい。234 のようなテラスのあるカフェや飲み屋さんが通り沿いにあるといい。228 のような、沿道でのイベントも定期的で開催されると賑わいが生まれてよいと思う。

231 のように沿道で市民参加の緑化活動ができるといい。グリーンインフラの取り組みにも絡めて緑化イベントを行っていいと思う。

- ・あがたの森通りが渋滞する要因の一つはバスがバス停で停車するということ、バス停にバスが止まるスペースを確保して、車が流れるようにできるといい。また、時間帯を決めてバス優先道路を設けることも一つではないかと思う。渋滞の緩和、車の量を減らすには、路面電車を導入（復活）や、地下を活用した地下鉄や車両の通行などの工夫も考えられる。

通りには信号の数が多。その交差点名がわかりにくいので、わかりやすい名前にしていけるといいと思う。

居心地よく歩ける通りには、樹木の木陰で休憩できるベンチがあるといい。落ち葉の問題もあるが、街路樹に反対意見を言う人も、夏場はみんな木陰で涼んで一息ついているはず。

通り沿いのセットバックした空間は、カフェや憩いの場として活用していけるといい。所有者の協力も得つつ、その空間は利用できる共有スペースとしてアナウンスしていけるといい。

<ワークシート2のまとめ作業>

- ・イオンモールの駐車場があがたの森通りから見た際に淋しい印象。日陰もないため、屋根のあるポイントを置けると良い。
- ・広いしあの空間のままではもったいない。

- ・あがたの森通りは長いので、いくつか休めるポイントがあると良い。芸術館の前は少し座れる感じになっていて、屋根のあるロータリーは休憩や雨宿りの面でも助かる。そういうものが通りにもつとあるといい。深志2丁目のスクランブル交差点のあたりなどに、屋根付きのポイントがあるとよ

いのでは。

- ・国府町のポケットパークにも屋根付きのポイントがあっても良い。
- ・通りには降った雨を透水する舗装を入れたい。市松模様などデザイン性もあるといい。
- ・白と黒とか、お城の雰囲気合うようなデザインもいい。
- ・商業地域、文教地域などでデザインを変えてもいいかもしれない。
- ・信号を見えにくくするのはすぐにでもできそうではないか。
- ・勤労者福祉センター入口、宮村町あたりの信号が危ない。
- ・勤労者福祉センター入口の信号はいつも混んでいて、すごい勢いで通りに入ってくる。
- ・南北の通りは幅員が狭くて緊急車両が入りづらいになっている。
- ・通りの南北で植栽の形や用途を変えるという案は他にはなくていいと思う。季節、時間帯によって歩行者の歩く側が異なっている。
- ・高校生が朝登校する際に歩く側も偏っている。
- ・南側が人で渋滞している。
- ・通りの南北でデザインを変える、まちづくりとしてもいい。(全員賛同)
- ・南側はたまりの場をつくっていいといい。
- ・木のイメージはやっぱり緑のトンネル、こうなるといい。
- ・今日はほんとに暑すぎて、日陰を求めてあがたの森に行く感じ。
- ・植栽においしい実がなるものなんて、ダメですかね。
- ・おいしい実は鳥が来るか人が取るかだが。飯田にはリンゴのある通りもある。松本の特産品をいれていけたらいいかもしれない。
- ・塩尻駅前にはブドウ棚が日除けにあたりする。
- ・育て甲斐のあるものを入れられるといい。
- ・緑化するバス停にかぼちやを植えるとか！
- ・プルーンとかポポーとかがいいかも。ポポーは森のカスタードクリームといわれている南米産の果物。
- ・ブドウとかスイカとか。
- ・ソバとか。

■リレー報告



まず、イオンモールの駐車場、ここが寂しいし、あがたの森通りに向かう際、北側なので露骨に日差しを浴びるということがある。そこで、イオンモール駐車場の傍に屋根のあるベンチがほしいということを1つ整理した。カタクラモールが元々あった場所でもあるため、スクラッチタイルなど文化的なデザインコードでつくれたらいいという意見もあった。

2つ目が、全体にわたっての意見で、バス停に屋根がなく待っている間すごく暑い。近くの建物の陰で涼んでいる人もいるが、屋根付きのバス停があるといいという意見。交差点で待つ際にも、緑陰や屋根ありの何かがあるといい。深志2丁目交差点のファミリーマートのあたりなど。

3つ目、最近ではゲリラ豪雨が発生することがあるが、発生するとあがたの森通りから駅側へ向かい雨水が流れ下ってしまう課題を軽減できるよう、透水性のある舗装で、黒と白の色使いで松本らしいモザイクタイルなど、各エリアで特色ある舗装があるといい。

4つ目、私もここへ来るときに車にややひかれかけたのだが、あがたの森通りに交差する南北の道から突進してあがたの森通りに進入する車が多い。特に朝などは青信号めがけて突進する車が多い。あがたの森通りを歩行者が安心安全に歩けるためにも、信号に斜めのスリットを入れるとか、信号に近づくまで色がわかりにくい仕掛けを取り入れることができれば、車もスピードを緩めて交差点に近づくようになるのではと思う。

加えて、防災の方から、通りに交差する南北の道路の幅員が狭いため、消防車などの緊急車両がなかなか入りにくいという現状があるため、緊急車両が入りやすくなるように、交差点の角の部分だけでも調整できると良いという意見があった。

最後に、あがたの森通りは東西軸が特色であり、西側の駅前から商業の雰囲気から芸術館、学校がある落ち着いた文教地区を経てあがたの森という、東西軸での街並みの移り変わりがあるが、歩いていて気づいたことが、南側はビルがあるためあまり緑陰はなくてもいい、逆に北側はカンカン照りで歩行者もほぼいないという状態。通りの左右がシンメトリーで目抜き通りとしてきれいな、あがたの森が見えて、美ヶ原が見えてという良さがあるが、少し考え方を变えて、南側は緑陰はそんなにいらないから、人がいる場所、たまり場として、北側は緑陰をもう少し増やして涼みながら人が歩けるような場所になればいいなという意見。北側は高木による緑陰、南側は人のたまり場があるといい。南側のつくり方として、きれいな花もいいが育て甲斐のあるブドウとか、スイカとか、プルーンとかを入れられたら私たちも進んで育てたくなるかなという意見も出た。

■ワーク2のまとめ

① それぞれが考えた実現したいことの分類・整理

分類	実現したいこと	事例 No.
ベンチ・ たまり場	樹木の木陰で休憩できるベンチ	
	給水井戸？	
	座れる花壇（無理に樹木に頼らない緑陰のあり方→道幅的に樹木は無理がある）	
	212、211 のようなベンチがほしい	212・211
	211 のような屋根のあるベンチ、1人～数人用さまざまなサイズのもの	211
	山の良く見えるポイントの写真 209～212 のような「たまり」となるような空間を設置したい	209～212
	日かげのベンチ	211・219
	店舗建物でセットバックしている場所でカフェ等憩のスペースとして利用	
	234 のようなテラスのあるカフェ、飲み屋さんがあるとよい	234
	カフェがなくなるのは悲しい、カフェを設置してほしい	234
	沿道の店舗の協力が必要であるが、歩道に路面店があってもよいのでは（スペース不足ではあるが）	
イベント ・賑わい	沿道のイベント、定期的にしてほしい	228
	道路に面した人の見える空間、店でも何でもよいが人の活動が見えることが重要	234
みどり	南北で異なる特色のある通り（北側：緑陰、南側：パークレットなど居場所）	
	現状の樹木は重い印象、218、236、243 のような空間	218・236・ 243
	市民参加の維持活動はよい	231
デザイン	夜の照明があがたの森～市民芸術館とても暗い。	
	仲町通りや伊勢町通りのような統一されたデザインがほしい	
	あがたの森通りは近代（大正8年頃）に整備された？スクラッチタイルなど、近代のテクスチャーがあるとよい	
交通	車メインではなく人がメインの道路になれば安心、快適	236
	全体に両側歩道はすべて透水性のコントロールパネルで舗装してほしい	
	縦に停めるサイクルスタンド（幅をとらない）	
	交差点の名前がわかりにくいのでわかりやすく）	
	幅広い歩道でゆったり歩けるように、まちを感じながら歩ける	201
	バス停を道からずらしてほしい	
	地下通路、車両、地下鉄	
	バス優先道路（時間帯で）	
	信号の青が見えにくい（無理に突っ込んでくる）	
	メインの東西の通りに対して南北方向へ入る路地の幅員が狭いところが多い救急車や消防車など大型の緊急車両がスムーズに通行できるよう車止めの位置に配慮してほしい	

② グループ内での実現したいことの具体化

実現したいこと	実現したいことのポイント	参考になる写真事例 No.	実現したいエリア	地図番号
イオンモールの駐車場に たまり場をつくりたい	・屋根ありのベンチがほしい	211  216  236 	エリア3	①
緑化されたバス停をつくりたい	・みどりのトンネルのある通り	222  226 	通り全体	②③
透水性のある舗装をつくりたい	・デザイン性のある歩道 ・お城の雰囲気にした模様 ・無色のランダム配置	234 	通り全体	
信号に少し目隠しをしてスピードを落としてもらいたい	・南北の方向に対する通行		通り全体	④⑤
北側に高木による緑道、 南側に低木による たまり場、滞溜	・育てがいのある 特産物の木（ブドウ、スイカ、 プルーン、ソバ、ポポー）	高木（北側）236  低木（南側）212 	通り全体	

地図番号は下図に対応



<B班>

■発言メモ

<ワーク1>あがたの森通りで実現したいと思うこと

- ・松本駅からあがたの森公園まで歩いて行ってみたいというワクワク感、その先へ行ってみたいという気持ちが個人的にはあまりないと思う。あがたの森に何かあれば、イベントを増やすなどしたら歩く人が増えると思う。沿道には美術館や市民芸術館などの建物があり、植栽の緑があり、歩道も綺麗に整えられていると思っている。雑草が生えているような街並みではないので、綺麗に整っているから、歩く人を増やしてあがたの森まで歩いて行きたくなるようにしたい。市民芸術館は何かしらコンサートやイベントをやっているので訪れる人はいるし、美術館には草間ワールドがある。なので、あがたの森にも人が来るようにイベントを増やしてはどうか。直線的な道路で見通しはあるが、全体的に少し殺風景だと感じる。

- ・まずこの通りは松本駅からあがたの森方向へ美ヶ原を眺めながら歩ける松本の一番の玄関口だと思う。なので、あがたの森までもっと統一感を持たせて整備した方がいいと思う。109の写真（沿道のアジサイの植栽）のように、プランターでもいいので同じ花が植わっているとか、松本のシンボルとして木が植わっている、そういうものの方がいいと思う。

美術館のところが意外と閉鎖的な感じがして通りと一体感がないため、美術館の前の広場でマルシェが開けたり、ミニステージがあるスペースにして通りに開けた方がいいかなと思う。また、駅前には店舗前をオープンカフェスペースとして活用できるようなお店がいくつか増えると、人の居場所が見えるのでいいかなと思う。あとは、126、125（イオンモール前広場とイオンモールの駐車場）が殺風景なので、グリーンインフラの整備と併せて、イオンモールと共同で、イオンモールの駐車場の端っこを使わせてもらい216（飯田市りんご並木通り）や201（姫路市大手前通り）のようなベンチを置いてはどうか。これはもう協働でやるしかないと思うが、グリーンインフラプラスこれがあるとだいぶ違うと思う。空庭の部分は殺風景なのと、結局草の除去などもなかなかされないで、それらも協働でやっていくともっと綺麗になると思う。

あと高い木を植えると鳥の問題がある。あがたの森も今すごいカラスに困っているが、やはりそれをなんとかしないといけないので、金沢駅がハトの退治にタカを使っているかなり効果があるみたいなので、そのようなものを考えていってもいいと思う。鳥の問題は通り全体的に、ムクドリとかカラスの問題がある。

- ・東西にまっすぐ通った道路で、美ヶ原が見える、松本駅の方はアルプスが見える。なので、山が見える形で道路を整備してもらいたい。そのため高い街路樹はやめて欲しい。あと、お店の方々から聞いたわけではないが、やはり看板やお店の中が見えるような植栽にしてほしいと強く思う。看板やお店の中が見えなくなるような高い木はやめてほしい。

あと、街路灯が不統一。道路を整備した年代によって様々な形で街路灯を整備したため、駅からあがたの森通りにかけて不統一なため、同じ感じの街路灯にしてほしい。少し苦情を言うと、特に飯田町あたりは街路灯が少なく暗い。

3つ目は大きな視野で見て欲しいのだが、自転車の通行帯をしっかりと整備しないといけない。道路交通法が変わって、自転車の取り締まりが強化されているなか、道路の北側は西から東に向かって一方通行になっている。学生たちは、登校時は良いが、帰りは一方通行を違反して走らなきゃい

けない状態になっている。それで今、あちこちで事故がおきている。あがたの森通りは、一方通行を違反しないで走れる道路にしていけないといけない。自転車通行帯をしっかりと整備して、そこを通るように指導できるような状態の道路にしていけないといけない。

実際の歩道と車道と自転車通行帯の幅を考えたらなかなか難しいとは思いますが、しっかりと整備しないと問題になりそう。駅前の方は歩道が広くて、植栽帯より道路側のスペースを自転車が走っているので、自転車通行帯を整備はできないことないと思う。

あと、歩きやすい歩道をつくってほしい。駐車場の前や車道に降りるところなどに傾斜がある。歩道が車道と比べて結構高いため、そういったところを考えてやっていけば（改善できれば）と思う。

あと、植栽で花壇はやめてほしい。花壇に花を植えたい気持ちは分かるが、それをあとやっていく人がいない。実際に水やりをしたり、整備したり、あるいは整えたりしている人がいない。実際にもう地域の人たちも居住している人が少なくなっており、しかも高齢化が進んでいるので、そういった維持できない。もし市でそれを全部やってくれるならいいが、そうじゃないならやめてほしい。今はお店の前で、個人で植えている状態で綺麗に見えているが、歩道の中に花壇をつくって、それで（地元で）植栽を入れてやってほしいということには反対。もしやるなら管理する仕組みみたいなものを作らないと全部枯れてしまう。

- ・ 206（名古屋市大須地区）みたいな感じに、歩行者用の歩道と自転車用の道がしっかりされているところもたくさんあったと思うが、されていないところも多いので、幅員の的に難しいのもあると思うができる限り整備されていると安全だと思う。

212（横浜市元町パークレット）は植栽帯の周りがベンチになっている。木などの周りが花壇ではなくベンチのようになっていけば休めるところができて、あがたの森まで少し遠いと思うので、休んでいけるかなと思う。

中町通りや縄手通りは雰囲気や特徴があると思うが、あがたの森通りはあまり統一感がないので、「こんなところ」とわかるような感じに、押し出してあげたいと思う。その一環ではないが、229（池袋グリーン大通りマルシェ）や230（池袋グリーン大通り IKEBUKURO LIVING LOOP）、238（松山市・花園町通り）みたいに、マルシェなどができるスペースもなくはないと思うので、美術館前のオープン化の意見もあったが、そういう感じでオープンにしたところや、イオンモールの前の広場などで、マルシェがもう少し頻繁にあったら、賑わって、盛り上がっている場所だよと宣伝できると思う。

あと、松本市は音楽の「楽」を押し出しているところがあり、あがたの森通りにはライブハウスや楽器屋などがいくつかあると思うので、あがたの森通りとして、音楽に関係するイベントがあったら、松本の玄関口としてお出迎えができるんじゃないかと思う。

- ・ 昔は良い悪いの前に放置自転車がひどかった。松本の駅前腐った自転車ゴミだらけ。それを当時の交通安全対策室に行って話をし、100回ほど放置自転車撤去をした。トラック2台分の放置自転車を持っていく。結局、行政の方では手伝わないとやらないと、はっきりと条件を出されている。その後、駐輪場ができて、条例もつくって、今は綺麗になった。結局、地元が本気になってやらない限り行政は動かない。国の中小企業庁に話をしても、ボトムアップはしない、やる気のないところはダメだと言われている。生き残るためにはどうするか。持っているあなたたちの街の個性、活

かせるものがあるかと。街自体を商品にするにはどうするか。街を商品にするには個性と香り付けをする。ルンルン気分歩く街というのは、その気持ちを満たすようなロケーションづくりをしないとイケない。俗に言うテーマ設定。テーマパークもそうですね。ディズニーだったらディズニーランドワールドがあり、USJはUSJワールドがある。松本では、駅前から美術館までは国際音楽都市の切り口で設定してそれに合わせたのをやっていく。あがたの森は文学で、どくとるマンボウ、北杜夫の世界をつくる。それで美術館は草間彌生ワールドをつくる。それで他は、人形町ワールド、中町ワールド、縄手ワールドがあって、大名町のお城ワールドがあって街全体。地方創生の全国の雛形になるようなつもりでやっていく。ついては街並み自体を商品にしないとイケない。ある一定の価値観を満たすようなことをしないとダメ。

今はムクドリの清掃を毎朝1時間やっている。街には必ずやらない人間はいるが、そこをやる。今度、町・会・組あげて清掃も全部やる。県とかと折衝しているが、「もっと楽しく」、「もっと美しく」って、補助金の受け皿もつくったし、器具なども買ってもらって、結局自分たちで「この町を良くしてやっていく」というのがないと絶対に売上につながらない。生活がかかっているから、できないではなく、やるんだよって。できないところは執行部がどんどんやっている。これで街中の雰囲気が変わっている。弱ったアジサイをもらい街中に配っている。だから駅前通りではアジサイが増えてきている。アジサイの管理をするならタダであげるからといって段々とメンバーを増やしている。グリーンインフラの前段階みたいな事を今やっている。(活動を) やらないところはしょうがない。やるどころがやっている。結局、街なみ自体を「歩いて楽しい」という風にする、価値観を満たすようにするには、キーワードみたいなものがある。いろいろやって初めて商品になるだから。居抜きの物件じゃダメ。全部やり直して全国の雛形になるようなことをやらないとイケない。だから市の方でもこれは中心市街市活性化の核になる。そういうところに業者は出店してくる。店舗加工力が高い業種が街の中、メーカーが強い業種は大型店舗にいつてしまう。だからイオンと張り当たってダメ。イオンでできないようなことをやっていく。要するに場所ごとに切り口をつくり、価値観を満たすようなことをやっていかないとダメ。全体的に統一させるというより、それも大事だが、テーマパークにする。だから統一看板なんていらない。手作りで統一するとか、そういう個性ある店・ショップの集合体しないとダメ。

美術館～あがたの森公園はどくとるマンボウの切り口、駅～市民美術館は国際音楽祭の雰囲気、ザルツブルグのように石畳を整備して、美術館周りは草間ワールドをつくる。ゾーンを設定してやっていく。あがたの森通りには、今それがないから、そういうゾーン設定をきちっとやり、価値観を満たすようなことをする。街なみ自体が商品だから。これは全信連の小売商業課の課長が言っていること。それでボトムアップは絶対しないとやっている。

<ワークシート2のまとめ作業>

○植栽について

- ・プランター等の管理を学生と一緒にできれば良いと思う。この通りは高校生が多く通るので、学校でこの区間は管理する、といった感じでやるのもありかと思う。自分の街を自分達でつくるという意識をもって、自分達でやっていく。そういう感覚が必要。意識改革。
- ・基本は、自分（店舗）のところは自分（店舗）で管理しないとダメ。
- ・（植物の維持管理をするなら）専門職の人をつけてほしい。
- ・確かに。清掃係、のように、園芸係のように。その道のプロの人とか、市役所で在庫管理をしたり

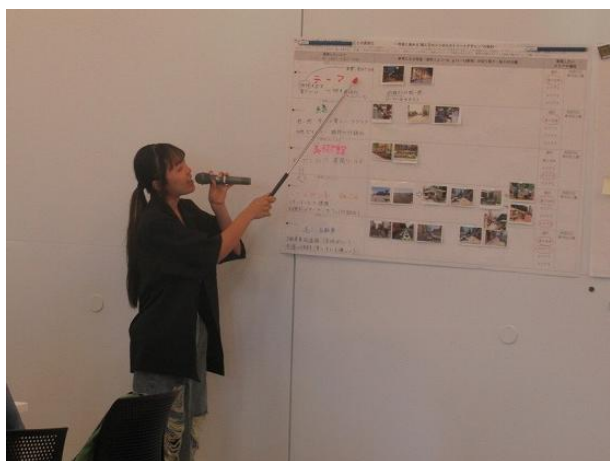
など。

- ・行政は自分達が動かないと動かない。
- ・維持管理する仕組みが必要。

○イベントについて

- ・イベントやマルシェはイオンモールと連携。（駐車場を）殺風景にしておきたくない。
- ・イオンモールと連携するということは、商連でやるということ。それはなかなか難しい。井上もパルコも撤退で商連も数が減ってきている。
- ・イオンモール前ではちょっとしたマルシェをやっている。
- ・夏祭りはイオンモールも出店してくれている。
- ・店舗前のオープンカフェは、歩道上に何か設置するのはすごく難しい。規制がある。
- ・規制を少し緩くしてもらおう。条例を変えてもらうしかない。
- ・ストリート ID をしっかり出して集客できる街にしていく。

■リレー報告



B班で考えたのは、大きく分けて「テーマ」と「緑」と「美術館」と「イベント・マルシェ」と「道関係」について考えた。

テーマについては、松本市のあがたの森通りの個性を出すということで、中町通りや縄手通りみたいにあがたの森通りにも個性があったらいいなということ、楽都の「音楽」や、美術館などもあるので、「美術」、「文学」といったテーマをもっと見えるようにして、テーマパークみたいに街を商品化することができたらいい。その一部として、街路灯の統一感などをテーマに合わせてできたらいいのではないかとというのが1つ目。

緑については、こちらもテーマという統一感が大事だと思います、その中でも歩いて楽しいとかワクワクする緑の作り方をしていければいい。その途中で休憩ポイントなどがあれば、暑いあがたの森通りの夏も少しは楽しく過ごせるのではないかと。（植栽の）維持が結構課題だと思うが、その維持の仕組みもいろいろ工夫して考えて、どうしたらもう少し緑が維持されやすいのかをこれから考えていく必要がある。

美術館については、今、周りの木が結構大きくて美術館が見えづらいので、もっとオープンにして、草間ワールドを全開にした美術館とした方がいい。

イベント・マルシェについては、その草間ワールドでイベントをしたり、イオンモールと連携して広いところを使わせてもらうなどして、イベントやオープンカフェができるかなと思う。他にも店舗前のオープンカフェについては、少し道が狭くて難しいところはあると思うけど、そういう（店舗が歩道を使えるような）仕組みを整えてもらうことも大切かなと思う。イオンモール駐車場前の道の今は寂しげな場所に、オープンカフェやマルシェなどをして明るい道にしていけたらいいと思う。

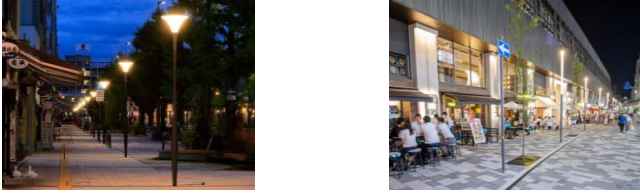
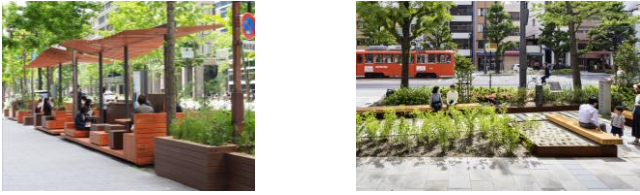
歩道や自転車専用道路については、自転車専用道路が全体的にあった方が安全だと思うので、自転車専用道路を（全体的に）整備することと、歩道の傾斜がきついところがあるので、車いすでも通れるような優しい歩道をつくっていけたらいいと思う。

■ワーク2のまとめ

① それぞれが考えた実現したいことの分類・整理

分類	実現したいこと	事例 No.
テーマ	街の個性を出す	
	街の香り付けをする（シーン・ロケーション）	
	街を商品にする	
	中町とか縄手みたいにあがたの森はこんなところ！ってわかるように宣伝する	
	街路灯が統一感があってよい	213・234
緑	アジサイ、中低木、コンテナの花、統一感があると美しい	109
	街路樹が高くない見通しのきく街、店の看板や店の中が見える街	242
	植物の周りがベンチになっているから、緑の下で休めそう	212
	植栽や花壇はやめてほしい（歩道内）、維持管理ができない	
	花は学校を巻き込むものありでは、自分たちのまちを自分たちの手でつくる意識改革が必要	
	木や花の統一感を持たせるようなグリーンインフラ、119のようにプランターでもよいが同じ花を植える	119
	グリーン、花の管理が店まかせ、個人は負担→年間の職人・職場が必要、市民ボランティアを募る、巻き込む	
美術館	美術館のくさまワールドを出す、訪れる人がいる	
	草間ワールド	
	124の美術館前をマルシェが開けたりミニステージがあったりするスペースにして、211の感じにオープンにする	124・211
道	自転車通行帯がしっかり確保されている	207・205
	206みたいに歩行者と自転車をしっかり分ける	206
	歩きやすい歩道	
	車イス、傾斜	
イベント	229、230、238のようなマルシェなどがあったら楽しそう（イオンモール前、美術館前）	229・230・238
	通りはまっ直ぐ整えられているけれど→殺風景なのかも	
	市民芸術館へ訪れる人がいる→ワクワク、落ち着く場所	
	「楽都」として押し出しているのを、松本駅前のあがたの森通りでイベントがあったらより認知してもらえる	
	あがたの森でのイベントを増やすと→歩く人が増える	
その他（鳥）	鳥については鷹を使う例が金沢駅でやっているのもよいのではないか	
	126、125の部分を216や201などイオンと協力して居場所づくりとして歩道を含めて考える	126・125・216・201
	お店の前をオープンカフェスペースとして活用	111

② グループ内での実現したいことの具体化

実現したいこと	実現したいことのポイント	参考になる写真事例 No.	実現したいエリア
テーマ	- 個性（音楽・芸術・文学）を出す香りづけ →街を商品化（テーマパーク）	街路灯の統一感（テーマに合わせた） 213 234 	通り全体
緑	- 統一感 - 歩いて楽しい - ワクワク - 休憩ポイント - 維持の仕組み	109 242 212 	通り全体
美術館	オープンに！草間ワールド	211 214 	エリア 2
イベント・マルシェ	- イオンモールと提携 - イベント前のオープンカフェ（仕組み）	125 126 216 201 	通り全体 エリア 3
道・自転車	- 自転車専用道路（全体的に） - 歩道の傾斜（車いすにも優しい）	205 207 206  201 202 	通り全体 エリア 1

<C班>

■発言メモ

<ワーク1>あがたの森通りで実現したいと思うこと

- ・意見は2点ある。1つ目について、あがたの森通りは自転車と車の距離が近く、いつも危ないと感じている。207の名古屋の事例で、自転車と車の間にスペースがあるため、安全に走れると思う。東京のお台場の208の事例では、交差点に自転車の誘導の印があり、よく交差点で自転車が突然曲がったりすることをよく見るため、そのような誘導があれば、危険な運転が減るのではないかと思う。

2つ目は、211の大阪市の御堂筋パークの事例は、屋根付きスペースがあり、日陰にしながら休憩ができるのがよいと思った。

- ・写真から離れてしまうが、松本駅を背にして、右側からのあがたの森や美ヶ原の眺望が美しいと感じる。左側からはそうでもないが、右側から眺めるとよい。

130の秀峰中等教育学校の緑はあがたの森への誘導として活かされているのではないかと思う。

深志2丁目交差点のマンションの植栽、花飾りは結構お金がかかっていると思うが、魅力を感じる。

松本駅のお城口からあがたの森を往復する直通バスを運行してほしい。現在のタウンスニーカーは松本城を経由するなど遠回りであるが、直接あがたの森公園に行ってもらおう。そのためにはあがたの森についての更なる魅力発信が必要であり、同時に美術館を経由して行ってもらえるのではないか。循環するのではなく、ただ往復するだけの路線がほしい。それに関して、バスの専用道路が時間的に必要なのではないか。

234の神戸市サンキタ通りの街灯について、通りで全部街灯を統一するのではなく、魅力的なものに残していくべきではないか。

109の花飾りや、深志3丁目交差点の自衛隊広報センター前の花飾りが非常に魅力的である。サツキなどが植えられていた場所が枯れてしまったのだと思うが、そのスペースを耕してアジサイなどを植えており、管理も行き届いている。前にも意見で出ていたが、高齢化が進むなかで、植栽する樹木や花の種類の選択に最終的に力を入れていかなければならない。

- ・222のように、年々暑くなっているため、タウンスニーカーなどが停車する場所に涼めるような緑化、藤棚のようなものができればよい。

205の自転車の通行帯はフラットで、高齢者には優しい道路や歩道にしていただければ、安全に通行できると思う。松本市でも大名町をフラット化する事例があった。高齢者が段差で自転車でひっかかって転ぶ事例を何度か見たことがある。

- ・今日も歩いてきて、暑いと感じた。街灯は規格化されたモジュールとして大量に設置されている。日陰を増やしたいが場所的に大きな樹木を増やせないなかで、規格化されたものにクランプでパラソルのようなものを固定するのはどうか。韓国ではまちのなかに街灯にパラソルを設置している事例がある。松本市内には緑色の街灯が立ち並んでいるが、パラソルを仮設的に設置していけば日陰も創出できる上に、イベント時の対応として両立できるのではないかと思う。そういうものがあれば通りとして魅力的になる。仮設物であるため、なくしたいときは外せばよい。

通りの南側に広い駐車場が多い。北側は建物が立ち並んでいるが、南側の駐車場は殺風景なものが多い。駐車場は入口以外は基本的に柵になるが、有効活用できる部分だと思う。事業者と話し合わなければならないと思うが、有効活用できるように、柵やベンチを設置するための擁壁として利用したり、擁壁があれば上に屋根もつくることができる。これから駐車場は増えていくと思うが、ただ駐車場にしておくのはもったいない。境界のつくり方を1つ提案できれば、他のまちなかに展開していけると思う。

- ・駐車場の柵は花をかけることもできる。フェンスの使い道は様々考えられる。

<ワークシート2のまとめ作業>

- ・このあたりの意見は私が出したので、「境界の居場所化」はどうか。
- ・自転車については、「自転車道路の整備」。
- ・交通系などをまとめて、「あがたの森への誘い」、誘導するという意味合いでどうか。
- ・屋根のイメージはスポットか、ずっと続いている感じか。
- ・最初はスポットのイメージでいたが、話を聞くと、続いている感じもある。
- ・街灯はずっと連続しているわけではないので、スポットというイメージ。部分部分で日陰がスポットしてあり、そこで休めるようなものを考えていた。「まちなかアクセント」はどうか。
- ・緑化するのはよいが、あまり高い木だとムクドリが来たりして、糞害で苦情がくる可能性がある。あがたの森もカラスの話がある。
- ・雨が降ると物凄く臭い。駅前も課題である。
- ・追い払っていなくなったと思えば、また別のところに被害がある。追いかけてこ状態である。あがたの森公園のカラスは、樹木も高く追い払いもできない。
- ・公園で糞を落とされた。
- ・雨が降ったときは、上から水とともに糞が落ちてくるため気をつけたほうがよい。車につくと大変である。
- ・植栽をつくるのはよいが、それを誰が管理するのが課題。通りに企業がたくさんあるため、企業が協力してくれればありがたい。芸術館からあがたの森までは町内会で年に1度草刈りをやっている。そういうときに企業に頼むが、なかなか出てくれない。イオンにも木がたくさん植わっているが、手入れがなかなかされておらず、文句を言っている。

- ・イオンモールの事務所で働いている。そういう樹木の話はイオンの誰に言っているのか。
- ・第3地区の居酒屋公民館で話をする。GM たちに話をしている。

■リレー報告



はじめに「自転車道路の整備」について、結構道もガタガタしていたり、皆さん車を運転される方も多いと思うが、車と自転車の距離が近い。207 の名古屋市は、車両が侵入できないように広めに線が書かれている。おそらく実際に幅を取っていくのは難しいと思うが、視覚的にわかりやすいように表示の仕方を変えたらよいのではないかな。

次に「まちなかアクセント」。今日歩いてきた方もいると思うが、結構暑い。屋根をつくるのにも場所が必要であり、現状道幅が狭くて場所が取れない。結構特徴的な街灯が多く、あがたの森通りには3～4種類程度、規格化されたモジュールがある。その規格に合わせて、仮設物として屋根を設置していく。例えば、支柱に対してクランプでパラソルを固定し、広げて屋根をする。ある程度可変性のあるものを使うことで、イベント等にも活用できるし、夏場の暑いときは設置し、冬場は降ろす、というようなことをまちなかのアクセントとして実現したいと考えた。

「境界の居場所化」について、現状空地や駐車場が増加してきていて、その境界は柵になってくる。駐車場は入口が一つあり、それ以外は柵になる。柵をどうにか活かさないかと思い、駐車場は広々とした空間を取ってしまい、せつかく両側に建物が立ち並び、ストリートとしてよい風景が続くのに対し、1つ大きな駐車場があるだけで、その奥行き感が損なわれてしまう。その境界をどう活かすか。柵はある程度固定化されたものが設置させると思うが、上に植物を這わせたり、ベンチをつけたり、屋根をつけたりすることもできる。駐車場の事業者と話をし、仮設的に、または固定化したものとして、敷地の境界を居場所化することで、一步まちが良くなると思う。

最後に「あがたの森への誘い」。駅から見た時に正面に大きな森が見え、両側に街路樹がある。樹木の高さはそれぞれだが、一番奥のあがたの森へどう向けていくかというところで、誘い方を考えた。樹種や花の種類は管理のしやすさで考えたり、食べられるなどといったポジティブな植物があればよい。後ろの方に美ヶ原が見えたり、まちなかの風景と自然の風景をどう調和させていくかを、いかに考えていくかという話に行きついた。

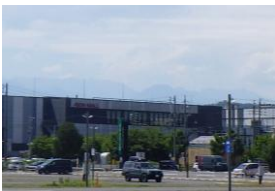
■ワーク2のまとめ

① それぞれが考えた実現したいことの分類・整理

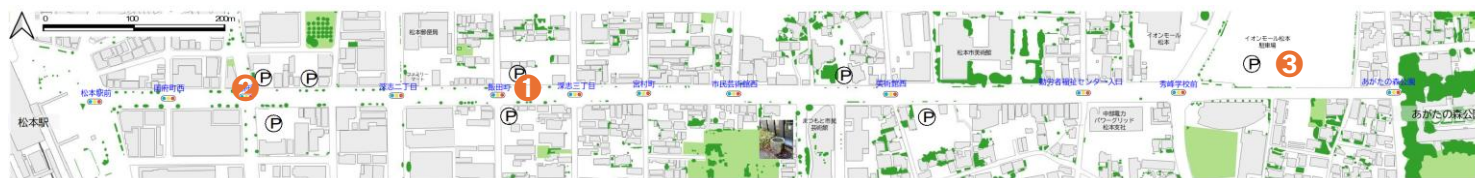
分類	実現したいこと	事例 No.
あがたの森への誘い	お城からの眺望が素晴らしい（あがたの森・美ヶ原）、駅を背に右側から見たとき	
	130（秀峰付近）はあがたの森への誘導の緑である	130
	松本駅（お城口）からあがたの森への直通バス（往復便）の運行は？（美術館経由？）	
	あがたの森のさらなる魅力発信	
	バス専用道路の確保	
境界の居場所化	109 及び深志 3 丁目の自衛隊広報センター前の花飾りが参考になる	109
	植栽する樹木・花材の選択（高齢化、管理不足）	
	222 緑化、年々暑くなるので涼めるようになる	222
	駐車場等の殺風景になる空き地との境界の設置物として通りを豊かにするオブジェクト（安らげるベンチ）を考える 215	215
	深志 2 丁目角マンションの花飾りは季節を問わず参考になる	
まちなかアクセント	234 街灯よい	234
	日かげについて街灯の 211 のような屋根付きスペースがあることで、日陰で休憩ができるのではないかな	211
自転車道路の整備	自転車通行帯、205 フラットで高齢者も安全に通行できる	205
	207 のような自転車専用と自動車の間にスペースがほしい	207
	208 のような交差点での自転車誘導があれば危険な運転が減る	208
	糞害の課題	
	人手の課題	

② グループ内での実現したいことの具体化

実現したいこと	実現したいことのポイント	参考になる写真事例 No.		実現したいエリア	地図番号	
自転車道路の整備	・ 自転車通行帯、205 フラットで高齢者も安全に通行できる ・ 207 のような自転車専用と自動車の間にスペースがほしい ・ 208 のような交差点での自転車誘導があれば危険な運転が減る	205 	207 	通り全体		
		208 	206 			
まちなかアクセント（屋根）	・ 234 街灯よい ・ 日かげについて街灯の ・ 211 のような屋根付きスペースがあることで、日陰で休憩ができるのではないかな	211 	234 	216 	エリア 1 エリア 2	芸術館前まで
		102 	119 	112 		
境界の居場所化	・ 109 及び深志 3 丁目の自衛隊広報センター前の花飾りが参考になる ・ 植栽する樹木・花材の選択（高齢化、管理不足） ・ 緑化、222 年々暑くなるので涼めるようになる ・ 駐車場等の殺風景になる空き地との境界の設置物として通りを豊かにするオブ	215 	222 	通り全体	①② ③	
		109 				

	ジェクト（安らげるベンチ）を考える 215 ・深志2丁目角マンションの花飾りは季節を問わず参考になる			
あがたの森への誘い	・お城からの眺望がすばらしい（あがたの森・美ヶ原）、駅を背に右側から見たとき ・130（秀峰付近）はあがたの森への誘導の緑である ・松本駅（お城口）からあがたの森への直通バス（往復便）の運行は？（美術館経由？） ・あがたの森のさらなる魅力発信 ・バス専用道路の確保	130  107  110  127  102 	通り全体	

地図番号は下図に対応



<D班>

■発言メモ

<ワーク1>あがたの森通りで実現したいと思うこと

- ・駅前から109 辺りまでは緑や花で華やかな印象があるが、そこから先は寂しくなるため、ハンギングバスケットを飾っていききたい。一方で、水やりが問題になり、手がかかるとお世話が面倒になってしまうため、自動冠水で水やりができればいい。

あがたの森通りに屋根付きのベンチを設置してはどうか。歩道の舗装は、長野市の中央通りのように石畳であれば、アスファルトよりも涼しさを感じられるのではないかな。

- ・あがたの森通りの魅力は2点ある。

1 点目は、松本市唯一の片側2車線4車線の目抜き通りであり、シンボリストリートのスペックがあると感じている。一方で、一般的なシンボリストリートにしては緑陰が少なく歩くのがしんどい。イメージとしては、236、245、246のような緑陰が理想的である。

2 点目は、中学校や高校などの学校が集積しており、学校群と駅が一直線でつながっているため、電車通学や学区内の小学生が日常的に立ち寄ったり、集ったりできる場所にしてはどうか。イメージとしては231、232である。

地域の方々に市民菜園のような取組を行ってはどうかな。通りの空き地を活用しながら緑化もしつつ、緑と関わるスペースが点在していると滞在性も生まれるのではないかな。

グランドフロアを店舗利用しづらい建物が続く印象がある。(東電、中電など) 大きなビルを持っている方の協力が必要であるが、グランドフロアの店が増えると通りを楽しむことにつながると思う。

あがたの森通りには文化芸術施設が集積しており、文教エリアとしてもっと緑と文化を打ち出しながらエリアビジョンをつくっていった方が良いと思っている。

- ・あがたの森通りは、少し薄暗い印象があるため、統一した街灯があるといい。イメージとしては、213の松山市の通りである。

休憩スポットがなく、学生さんが座れる場所があったらいいと思う。イメージとしては、211、212の緑とベンチが一体になっている設備があると魅力的である。

松本駅を利用する外国人の方が多いため、204のように英語表記で足元に標識があるとすごく良い。

222のように屋根が緑になっているのが素敵である。同じようにバス停を緑化できないかな。見た目の向上だけでなく、バス待ちの日よけにもなる。

- ・あがたの森通りの駅に近い方では、お店は多いが明るすぎて入りづらい印象がある。もう少し落ち着いたお店の方が入りやすいと思う。

給水スポットがあるといい。大名町通りだと井戸があったりするが、水によって涼しい印象がうまれるのではないかな。

- ・あがたの森通りにもっと緑を増やしたい。駅からあがたの森に近づくにつれて緑のボリュームをアップさせて、あがたの森付近では高木を植えてはどうか。

沿道に使われていない建物が点在している。特にNHKが気になる場所であるが、イオンさんと

の棲み分けはあるにせよ、何らか建物を活用できると良い。

<ワークシート2のまとめ作業>

- ・あがたの森から駅に歩いて欲しい。歩いた時に立ち止まれるスポットをつくって、それらを繋いでいくことで駅まで到達できる形が理想的である。
- ・立ち止まるスポットだけでなく、見て楽しめるような歩ける通りにしたい。
- ・所々で給水地点をつくり、水の周りでひと休みできるベンチや緑陰があれば良い。
- ・給水地点がわかるように、統一された案内看板があるだけでも、通りの雰囲気が変わるのではないかな。
- ・善光寺で花飾りをやっているが、座ったときの目線に花があると気持ちが華やかになる。花回廊の時期など期間限定でも実施できないだろうか。ピンポイントでも花があるだけで通りの雰囲気がぐっと良くなる。
- ・通りに開かれた店舗をグランドレベルでできると通りの雰囲気がより良くなる。更に、駅前足元に花や緑がある状態から、あがたの森に向かうにつれて、花や緑の高さレベルやボリュームを上げていければなお良い。また、地域のこどもたちと一緒に育てられるガーデンやファームといった形を取れたらもっと良い。
- ・桜の木があったら華やかになるのではないかな。観光客や地元の方も写真を撮りたくなる通りになるのではないかな。
- ・町全体で見たときに、それぞれ通りごとに役割がある。あがたの森通りもシンボルロードとしての役割を再確認し、それに相応し通りを目指すべき。

■リレー報告



D班のコンセプトとしては、あがたの森から駅まで歩いてもらうということで考えた。歩かせるにはどうするかということで、頑張って歩けるところまで引っ張ってこられるよう、駅からあがたの森まで努力すればなんとか歩けるようにするためのポイントをつくる。日の出町通りには井戸水や湧水の水場があるが、あがたの森通りには菊地さんのところ以外にはあまりない。湧水のポイントを加えたスポットがあれば、努力すれば歩いてもらえ考えた。芸術館方面には水が流れているところもあり、それがわかりづらいという意見があったため、うまく水を見せてあげれば、水を感じられて歩きやすくなるのではないかな。

樹木はあまり高木にしてしまうと、松本駅から見たときの風景がよくないという話があったため、松本駅前には花や低木にして、あがたの森までに行く間にグラデーションをつけて、駅側はカラフルに、公園側は緑になるようにすればよいと考えた。加えて、水路をうまくつくってあげれば、花の灌水も自動化できるため、枯れている部分が枯れなくなり、空いている部分も統一してきれいにできるのではないかと考えた。

松本城に行くコースも、花をうまく使い、人を誘導して観光の動線ができるようなガイドラインを策定するとよい。生活の部分でも人が回遊させるようなポイントで花を使ってあげればよいと思う。

■ワーク2のまとめ

① それぞれが考えた実現したいことの分類・整理

分類	実現したいこと	事例 No.
エリア全体	エリア2の東側～エリア3、松本市街の中でも文教エリアとしてエリアビジョンを描く→文化芸術施設のポテンシャルを引き出す	
憩い・潤い	242のような車道と歩道→アスファルトでないため涼しさを感じられる	242
	日の出町通りのような井戸水スポット	
	211、212のようなベンチなどを通りにつくる→休憩や食べ歩きの際に利用していただけるようにする	211・212
	212のような緑と休憩スポットが一緒になっているデザインがすてき	212
	沿道に人が溜まれる場を開く	209・210・ 221・212・ 214・217・ 221・230・ 231
	市民菜園など沿道事業者や通学する子どもたちが日常的に（いつでも）関われる場がベター	231・232
	Mウイングのような小路	
緑化	緑陰を増やす	236・245・ 246
	245のような街路樹	245
	あがたの森周辺	245
	目線の高さを上げる、スタンディングバスケットやラウンド、自動灌水	242
	バス停の緑化、バス待ちの人々が日よけをできるような設備をつくる	
沿道	通り全体で街灯の統一性を出す	213
	エリア2の東側～エリア3、グランドフロアの店舗（個店）を増やす→オフィスの協力が必要	236
案内サイン	英語か多言語の表記で案内看板→足元など	204
自転車	自転車レーン	267

② グループ内での実現したいことの具体化

実現したいこと	実現したいことのポイント	参考になる写真事例 No.	実現したいエリア
憩のスポットをつくろう	・水を感じる（井戸、給水スポット、共通サイン） ・パークレット＋緑・花	211  212  204  242 	通り全体
グランドレベルを盛り上げる	・沿道に店が開かれている ・部分的にガーデン、植栽 ・空き家、空き地を活用 ・子どもたちと一緒に維持管理	236  214  217  231  232  213 	通り全体
あがたの森に向けて 緑・花を デザインする	・あがたの森へ緑・花の高さを上げる（花→中木→高木） ・通りを通じた樹木や花のデザイン ・照明や案内サインで統一的な空間づくり ・水を活かした効率的な維持管理	245 	通り全体